

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



No. 340
2025年10月

地域連携のその先へ



特集

令和7年度 第1回

開放型病院連絡会が開催されました

● VOICE

- 熊本県医師会生涯教育講座のご案内
- 熊本医療センター医学会の開催と演題募集のご案内
- くまびょう TOPICS

● 研修医レポート

- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

**096-353-6565
096-353-6566**



受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人 国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center

熊本医療センター

検索

ホームページ QRコード▲



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 政策医療の推進
2. 救急医療とがん診療の推進
3. 開放型病院による医療連携の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります



熊本医療センター
日高 道弘 院長



熊本市医師会会长
園田 寛 先生

令和7年度 第1回（通算55回） 開放型病院連絡会が開催されました

令和7年度第1回（通算55回）国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会を、9月8日（月）午後7時より、ホテル日航熊本5階「天草」にて開催いたしました。当日は登録医の先生方及び地域医療連携ご担当の皆様ほか318名の方々にご出席いただき、院内スタッフ132名の総勢450名の方々にご参加いただきました。

高橋院長の退官に伴い、今年度より院長となられた日高院長から開会の挨拶があり、続いて熊本市医師会会长の園田寛先生よりご挨拶をいただいた後、熊本市医師会理事の緒方一朗先生と宮成副院长両名の司会で総会が始まりました。

総会では、梶原腎臓内科部長より「『見える』ことで『動ける』、そして『守れる』CKDマネジメント～eGFRスロープ（LTERP）相談窓口のご案内～」と題して、報告があり、菊川地域医療連携センター長による「地域医療連携室からのお知らせ」、富高地域医療連携副センター長による「紹介予約センターからのお知らせ」と続き、最後に熊本市歯科医師会会长の渡辺猛士先生からご挨拶をいただいた後、富田副院长の閉会の挨拶を以て総会を終了いたしました。

総会終了後は会場を5階「阿蘇」に移し、総会に引き続き、熊本市医師会会长 園田寛先生によるご挨拶及び乾杯のご発声で意見交換会が始まりました。職種ごとに設置されたテーブルを囲み、終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われていました。会の途中で、当院の幹部一同がステージに上がり、日高院長が一人ずつ紹介していく、続いて、各診療科部長（医長）一同を富田副院长、副看護部長・看護師長一同を堤看護部長より紹介いただきました。最後に熊本市医師会副会长の田中英一先生の閉会のご挨拶で盛況のうちに無事終了となりました。

令和5年度から従来の規模に戻しての開催となっている所ですが、前年は約60名、今年はさらに昨年よりも50名も参加者が増え、総会と意見交換会の会場を分けるほど盛況となりました。引き続き、この会が登録医の先生方との連携を深め、地域医療を益々発展させる一助となることを期待します。



意見交換会の様子

庶務班長
坂田 勇輔



料理



各診療科部長の紹介



副看護部長・看護師長の紹介



特定医療法人萬生会 合志第一病院

院長 堀川 健太郎



◆貴院のアピールをお願いします

当院は、合志市のほぼ中央に位置し、地域一般36床、地域包括ケア30床、医療療養35床、緩和ケア27床を有する128床のケアミックス病院です。デイケアも併設しております。ポストアキュート、長期療養、癌及び非癌の終末期医療に力を入れております。循環器内科標榜に伴い心血管リハビリテーションも開始しております。また、法人内の在宅部門と共同して在宅療養も支援しております。

どの病棟も平日、休日ともに面会をしやすくしております。人数、年齢の制限もありません。ペット面会も可です。高速道路の北熊本ICから10分、熊本空港から30分と遠方からのアクセスも良好です。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えて下さい

私の趣味は山登りです。健康維持が目的ですので、ロッククライミングのような本格的なものではなく、日帰りで往復する程度の登山です。お天気の良い週末に、近くの俵山、鞍岳や小岱山によく登ります。夏は暑いので九重山、阿蘇山、祖母山などの高い山に、冬は天草の次郎丸嶽、太郎丸嶽や白嶽に出かけます。

連休の際は、中国や四国地方まで足を伸ばします。伯耆大山、石鎚山、剣山などは景観が良くて、とても気に入っています。夏休みが取れた際は北アルプスまで行くのですが、なかなか取れません。今年こそはと企んでいます。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

平素より患者さまを多数ご紹介頂きありがとうございます。また、当院で対応困難な患者さまをお引き受け頂き、心より感謝申し上げます。

当院では、転院の際にできるだけ速やかにお受け入れさせて頂いております。緩和ケアの患者さまの他にも長期療法などの患者さまもご遠慮なくご紹介頂ければと存じます。

【診療科目】

総合内科、緩和ケア内科、血液・腫瘍内科、循環器内科、脳神経内科、消化器内科、皮膚科、リハビリテーション科

【診療時間】

月～金曜日 9:00～12:00、14:00～17:00

【休診日】

土曜日、日曜日、祝日

【住所】

〒861-1104 熊本県合志市御代志 812-2

【TEL】

096-242-2745

【FAX】

096-242-3861



『熊本県医師会 令和7年度日本医師会生涯教育講座』

開催のご案内

皆様方には、平素より多大なるご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さてこの度、下記のとおり「熊本県医師会 令和7年度日本医師会生涯教育講座」が熊本医療センターにて開催されます。

ご多用中とは存じますが、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

(申込先、お問合せ先：(公社) 熊本県医師会業務一課 TEL:096-354-3838)

記

「熊本会場 施設見学実習及び講義内容」

場所・日程： 国立病院機構熊本医療センター（令和7年11月15日（土）
(日本医師会生涯教育講座 2.5単位)
(取得カリキュラムコード：CC7, 15, 76)
(専門医共通講習会 申請中)

I. 受付（13:30 – 14:00）受付場所：新館6階 スキルアップラボセンター

II. 開講式（14:00 – 14:05）院長 日高 道弘

III. 講義（14:05 – 15:05）

「糖尿病治療における注射薬導入の適応、方法、そして注意点」
講師 臨床研究部長、糖尿病・内分泌内科部長 西川 武志
(取得カリキュラムコード：CC76 1単位)

IV. 医療安全研修もしくは専門医共通講習会（15:05 – 16:05）

「当院の医療安全の現状」

講師 医療安全管理係長 森山 ひろみ
(取得カリキュラムコード：CC7 1単位)
(専門医共通講習単位 医療安全 1単位の予定)

V. 施設見学実習（16:05 – 16:35）

「シミュレータ体験学習」

1. 心臓超音波シミュレーター

講師 循環器内科医長 山村 智

2. 消化器内視鏡シミュレーター

講師 診療部長、消化器病センター長 立山 雅邦

3. 腹腔鏡シミュレーター

講師 診療部長、外科部長 久保田 竜生

(取得カリキュラムコード：CC15 0.5単位)



第31回国立病院機構熊本医療センター 医学会の開催と演題募集のご案内

第31回国立病院機構熊本医療センター医学会が2026年1月17日（土）に国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター大ホールにて現地開催で開催されます。（日時、場所、開催形式については変更になる場合もございます。その場合、当院ホームページでお知らせいたします。）

例年通り病院全体の職種が参加し発表します。

開放型病院登録医の先生方や施設のスタッフの方にも是非ご発表頂きたく演題募集をさせて頂きます。

応募方法は演題抄録をe-mailにてご送信下さい。

多数のご参加をお待ちしております。

抄録提出締切日：2025年11月12日（水）

- 抄録には、演題名、所属、発表者、共同演者、本文を記述してください。
- 本文は【目的】【方法】【結果】【総括】、症例報告は【目的】【症例】【経過】【考察】に沿って記述して下さい。
本文は600字以内にして下さい。
- 図表の使用はできません。半角カナは使用できません。
- 尚、発表は原則としてPCで、使用ソフトはパワーポイントで作成したものに限ります。
- 発表時間は6分、討論3分です。
- 参加費は無料です。

お問い合わせ・送付先：〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号

国立病院機構熊本医療センター医学会運営

臨床研究部長 西川武志

事務局 高橋和恵

TEL:096-353-6501 FAX:096-325-2519 E-mail:takahashi.kazue.ck@mail.hosp.go.jp

くまびよう TOPICS

8/8（金） 救急医療一日体験を開催しました！ 看

【筆者】教育担当師長：押川妃二美

昨年度より開始した「救急医療1日体験会」は、看護学生が熊本医療センターの救急医療・看護の現場にふれることで、その魅力を感じ、将来的にともに働く仲間となつてもらうことを目的とした企画です。今年度は24名の看護学生が参加し、6名ずつのグループに分かれて、救急外来・救命救急センター・ICU・CCUの各部署を順番に見学・体験しました。各部署では担当看護師の指導のもと、看護ケアの実践や説明を受けながら、治療・処置の見学、ME機器の操作体験などを行いました。さらに、体験後には入職1～2年目の若手看護師や特定行為研修修了者、ベテラン看護師との意見交換の時間も設け、学生たちは現場のリアルな声にふれることができました。参加学生からは「学習意欲が高まった」「熊本医療センターで働きたいという思いが強くなった」などの前向きな感想が寄せられ、非常に有意義な体験会となりました。ご協力いただいた各部署の皆さんに心より感謝申し上げます。参加学生の皆さんと、将来現場で再会できることを楽しみにしています。

【場所】熊本医療センター



8/8（金） モニターミーティングが開催されました 事

【筆者】管理課長：井上弘毅

地域住民の皆さまから幅広く意見を聴取し、診療機能の充実を図ると共に、地域に密着した病院として、良質な医療の推進を図ることを目的とする「モニターミーティング」を8月8日（金）に開催しました。

モニター委員として、毛利秀士様、大住裕司様、橋本弥生様、仁田信二様、橋本万砂子様の計5名の皆さまにご参加いただきました。

会議では、病院紹介として日高院長の「病院概要の説明」を始め、副院長及び臨床研究部長、統括診療部長から近況報告等を行いました。当院の概況について説明した後に、委員の皆様から当院に対するご意見をいただきました。活発な議論がなされ有意義な意見交換となり、お互いの理解が一層深まったと思います。これからも地域住民の皆さんと共に、地域に密着し信頼される病院となるよう努力していきたいと思います。

【場所】3F会議室



研修医レポート

Medical Intern Report



臨床研修医

まえだ あや
前田 彩



こんにちは。研修医1年目の前田彩と申します。研修医として働き始めて半年が経ちました。これまで血液内科、糖尿病代謝内科、産婦人科、小児科をローテーションし、また救急外来でも多くの患者さまと向き合う中で、医師としての責任や、医療チームの一員であることの重みを日々実感しています。

血液内科では、命に関わる疾患を抱えながらも、治療に懸命に取り組む患者さまの姿勢に心を打たれました。複雑な治療法・病態管理や急変対応など、内科医としての基礎を学ぶ貴重な時間となりました。糖尿病代謝内科では、インスリン調整や糖尿病治療薬を主に学び、生活習慣と密接に関わる疾患を通して、日常の習慣の大切さを実感し、医師だけではなく、患者さま自身の努力や理解があつてこそ成り立つものだと感じました。

臨床研修医

むらなか いあり
村中 伊織



こんにちは。研修医1年目の村中伊織と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修を始めて半年が経とうとしています。学生の頃とは生活が大きく変わり、戸惑うこともありました。先生方やスタッフの皆さんにご指導いただきながら、少しづつ臨床の現場に慣れてきました。忙しいながらも充実した日々を過ごしています。

この半年間で外科、腎臓内科、精神科、そして現在研修中の産婦人科を経験しました。外科では術前・術後の管理や創部処置などを

婦人科では、がん診療や手術、病棟管理などを通して、女性特有の医療に触れる中で、身体だけでなく心のケアの重要性を学びました。ライフステージに関わる疾患が多いからこそ、言葉選びや接し方に慎重になる必要があり、医師としての在り方を見つめ直すきっかけになりました。

小児科では、子ども本人だけでなく家族への配慮も含めた「全体を診る」視点を学びました。子どもは自分の症状を伝えるのは難しく、最初はどのように接すればいいのか迷うこともありましたが、採血や診察を通して、成長を実感できた時間でした。

救急外来では、限られた情報と時間の中での確な判断が求められ、毎回が緊張の連続でした。それでも、先生方や看護師の方々が支えてくださり、徐々に自信もついてきました。

そして、同じように悩みながらも頑張っている同期の存在は、何よりの支えです。様々な方に支えられて、充実した研修が行えていると日々感じます。まだまだ不慣れなことが多く、ご迷惑をかけすることもあると思いますが、これからも謙虚に学び続け、患者さまに寄り添うことができ、信頼される医師を目指して精進していきたいと思います。

臨床研修医

おにつか そのこ
鬼塚 苑子



こんにちは。研修医1年目の鬼塚苑子と申します。初期臨床研修が始まってから半年が経ち、これまで循環器内科、血液内科、小児科、精神科を回らせていただきました。まだまだ未熟な私にとって、どの診療科でも日々学びの連続であり、多くのことを吸収させていただいてあります。

循環器内科では、急性期対応の重要性とその緊迫感を肌で感じ、カテーテル治療に入ったり、様々な手技を経験させていただきました。血液内科でも多くの手技の機会をいただき、ICや外来の陪席、日々の診療から、患者さまやご家族との向き合い方を学びました。小児

を通して、チームで支える外科医療の迫力を学びました。腎臓内科では透析や電解質異常のマネジメントに携わり、データをもとに治療方針を考える難しさを実感しました。精神科では患者さまとの対話を重ねる中で、医学的側面だけでなく生活背景や心理的要因を含めて理解する姿勢の大切さを学びました。産婦人科では婦人科疾患の診療や手術、術後管理に参加し、これまでとは異なる視点での学びを得ています。

また救急外来にも参加しており、最初は次々と搬送される患者さまを前に立ち尽くすばかりでしたが、2年目の先生方や救急の先生方に支えられながら少しづつ自分にできることが増えてきました。まだ迷うことが多いですが、経験を重ねるごとに落ち着いて動けるようになってきたと感じています。

これからも学んだことを一つひとつ積み重ね、信頼される医師に近づけるよう努力していきたいと思います。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

科では、子どもたちへの診察や検査の難しさを痛感し、先生方の洞察力、繊細な医療判断に学び日々でした。精神科では、一つひとつの言葉が治療につながること、退院後の社会的支援の大切さを感じました。

また、日々の各診療科での研修に加え、週に1回の救急外来では、限られた時間で最善を考える難しさを感じながらも、2年目の先生方のご指導のもと少しづつ経験を積ませてもらっています。

それぞれの科でご指導くださった先生方には、お忙しい中でも、私の拙い質問に真摯に向き合ってください、様々な知識や手技について丁寧に教えていただき、心からの尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、日々の業務を支えてくださる看護師さんをはじめとする医療スタッフの皆様の存在なしには、診療が成り立たないことを痛感し、改めて感謝の念を抱いてあります。

何より、悩んだときに励まし合える同期の存在が大きな支えになっています。まだまだ至らない点ばかりですが、今後も謙虚な姿勢を忘れず、少しでも成長できるよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。

2025年10月 研修のご案内

二の丸モーニングセミナー

日時▶10月2・9・16・23・30日（木）8：30～9：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第57回 ナースのための心電図セミナー

日時▶10月4日（土）9：00～12：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

〈講演1〉「心電図の基礎」

国立病院機構熊本医療センター循環器内科部長 松原 純一

〈講演2〉「不整脈」

国立病院機構熊本医療センター循環器内科副部長 片山 哲治

〈講演3〉「各種心疾患における心電図」

西日本病院循環器科内科部長 藤本 和輝 先生

糖尿病教室

日時▶10月15日（水）13：00～16：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1、2

第85回 診断と治療－最新の基礎公開講座－ [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶10月18日（土）15：00～17：30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「新しい外科分野－Acute Care Surgery の役割と挑戦」

座長 熊本県医師会 理事 高橋 毅 先生

(1) 「Emergency Surgery」

国立病院機構熊本医療センター外科部長 松本 克孝

(2) 「Trauma Surgery」

国立病院機構熊本医療センター救命救急センター長 渋沢 崇行

(3) 「Surgical Rescue」

熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学講座助教 小川 克大 先生

第317回 月曜会（内科症例検討会）

[日本医師会生涯教育講座 1.0 単位認定]

日時▶10月20日（月）19：00～20：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1 血液内科からの一例 2 総合診療科からの一例

熊本摂食・嚥下リハビリテーション研究会 特別講演

日時▶10月21日（火）19：30～20：30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「摂食嚥下障害とりハ栄養について」

座長 鶴田病院 / 言語聴覚士 小田原 守 先生

講師 熊本リハビリテーション病院医師 / サルコペニア・

低栄養研究センター長 吉村 芳弘 先生

熊本県臨床検査技師会・ 病理細胞部門

日時▶10月23日（木）18：30～20：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第112回 特別講演

[日本医師会生涯教育講座 1.5 単位認定]

日時▶10月27日（月）18：30～20：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「神経発達症に関する合理的配慮」

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座教授 牧之段 学 先生

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶10月28日（火）19：00～21：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

研修へのお問い合わせはこちら

国立病院機構熊本医療センター

地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター

QRコード▶





診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	
	血液	河北 敏郎 樋口 悠介	原田 奈穂子 田口 謙	河北 敏郎 渡邉 美穂	日高 道弘 河北	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	渡邊 拓郎 (午前新患) 有菌 功一 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 渡邊 拓郎 (午前再診)	
	呼吸器内科		熊大師 (院内コンサルト)				
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター 外来	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	畠中 利暉	梶原 健吾 中村 朋文	
	その他	C K D 外来	C K D 外来	C K D 外来		P D 外来 療法選択外来	
	腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智	境 健爾 (2・4週)	境 健爾 (1・3週) 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	1 診	楠本 周平	杉 和洋	杉 和洋	杉 和洋	立山 雅邦	
	2 診	松山 太一	立山 雅邦	大賀 貴博	松山 太一	赤木 由理恵	
	3 診	源 和也	赤木 由理恵	富口 純	楠本 周平	富口 純	
	4 診						
	午前 (~13時)	立山 雅邦 富口 純 大賀 貴博 赤木 由理恵	楠本 周平 源 和也 松山 太一	松山 太一 楠本 赤木 由理恵 大賀 貴博 源 和也	立山 雅邦 富口 純 源 和也 大賀 貴博	松山 太一 楠本 赤木 由理恵 岡本 有紀子 大賀 貴博	
	午後 (13時~)	立山 雅邦 赤木 大賀 貴博 富口 純	松山 太一 富口 純 楠本 周平 源 和也 大賀 貴博	立山 雅邦 松山 太一 赤木 由理恵 源 和也 楠本 周平	立山 雅邦 富口 純 源 和也 大賀 貴博 赤木 由理恵	松山 太一 楠本 赤木 由理恵 大賀 貴博 源 和也	
	超音波室	杉 和洋	富口 純 大賀 貴博	立山 雅邦 杉 和洋	岡本 有紀子 赤木 由理恵	杉 和洋 源 和也	
心臓血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	有馬 義博 尾崎 淩志郎 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	松原 純一	
	再来	田山 信至	松原 純一	山村 智	有馬 義博 尾崎 淩志郎 友宏 白尾	片山 哲治 木村 優一	
(心臓血管外科)			手術日	岡本 健	田中 瞳郎 (再診)	手術日	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	興梠 雅彦	岡田 拓巳	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液		興梠 雅彦 右田 昌宏			右田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優 (予約のみ)		渡邊 優 (予約のみ)	渡邊 優 (予約のみ)	
外科		中川 茂樹 日高 香織 (2・4週) 小野 明日香	水元 孝郎 松本 克孝 高津 研翔	岩上 志朗	宮成 信友 黒木 秀幸	久保田 竜生	
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	堀 遼太 大塚 忠弘	中川 隆志 伊東山 剛	舍川 健史 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	井村 真男	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	井村 真男	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	満瀬 葉介 (新患) 福元 哲也 (新患) 3 診	手術日	前田 智 (新患) 福元 哲也 (新患) 福田 和昭 (新患)	手術日	興梠 航 (新患) 中馬 東彦 (新患) 中瀬 啓太 (新患)	
	午後	1 診 2 診 3 診	興梠 航 (再診) 福元 哲也 (再診) 福田 和昭 (再診)	浅沼 涼平 (再診) 中瀬 啓太 (再診)	手術日	満瀬 葉介 (再診) 中馬 東彦 (再診)	
泌尿器科		前田 喜寛 担当医	菊川 浩明 鰐島 智洋 神尾 琢克伸	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 村上 栄敏	菊川 浩明 担当医	
産婦人科		高木 みか 瀬尾 優太朗	山本 直 坪木 純子 米田 征義	手術日	高木 みか 坪木 純子 瀬尾 優太朗	山本 直 米田 征義	
感覚器センター (眼科)		渡邊 隆弘 中原 敦子 高田 遼	(手術日)	渡邊 隆弘 中原 敦子 高田 遼	(手術日)	渡邊 隆弘 中原 敦子 高田 遼	
感覚器センター (耳鼻咽喉科)			手術日	上村 尚樹	手術日	上村 尚樹	
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	山下 淳二	牧野 公治	稻葉 かずは	担当医 (手術日)	大溝 耕一郎	
	再診 (初診 その他)	稲葉 かずは 山下 淳二	大溝 耕一郎 牧野 公治	山下 淳二 稲葉 かずは		牧野 公治 大溝 耕一郎	
形成外科		(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 谷村 雄太 室田 啓介 植田 遼子	(午 後) 大島 秀男 谷村 雄太 室田 啓介 植田 遼子	担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 谷村 雄太 室田 啓介 植田 遼子	
放射線科	治療 (予約制)			富高 悅司、金 健志			
	画像診断		根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、金 健志、吉松 俊治				
麻酔科		宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)				(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来		境 健爾	境 健爾	境 健爾	境 健爾 (2・4週)	境 健爾 (1・3週)	
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	
救命救急センター		櫻井 聖大 渋沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 久保崎 順子 吉村 文孝 深水 浩之 大本 寛之 笹尾 駿介 山本 聰	櫻井 聖大 渋沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 国友 耕太郎 川口 淳 橋本 聰 耕太郎 深水 浩之 木村 文浩 大本 寛介 笹尾 駿介 山本 聰	櫻井 聖大 渋沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 耕太郎 川口 淳 橋本 聰 耕太郎 深水 浩之 木村 文浩 大本 寛介 笹尾 駿介 山本 聰	櫻井 聖大 渋沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 李克孝 松本 松深 大本 深水 大本 笹尾 山本 聰	櫻井 聖大 渋沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 李克孝 松本 松深 大本 深水 大本 笹尾 山本 聰	櫻井 聖大 渋沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 李克孝 松本 松深 大本 深水 大本 笹尾 山本 聰
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合もございますので、御了承ください。

R7/10/1